

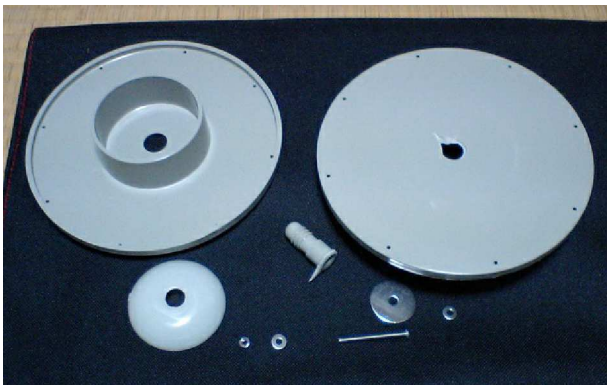
160708 等身大のアンパンマン、お友達が待ってるヨ!



こわれたおもちゃを回収する「ゆりかご」の設置を、近くの保育園に、お願いに伺った際、預り即入院。等身大のアンパンマン、胴体から頭が外れてしまった。



顔は左右に動かせる。頭部と胴体をつないでいる、首の芯棒が折れ、さしずめ「頸椎損傷」というところ。頸椎部品に金属ピンを入れる整形外科手術を開始。



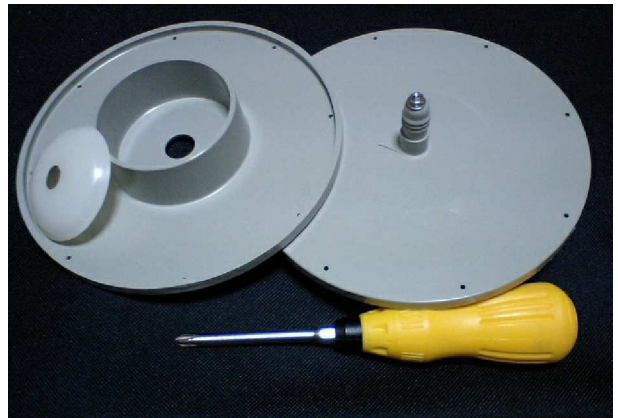
頸椎部品のプラスチックに入れる金属ピンは代用品。35mm長のステンレスボルト・ナット、多少の力でも抜けないように、25mm径ワッシャーを購入。



幸い、頸椎部品は、頭部のぬいぐるみの中で発見。台座から折れた以外は、ひび割れ等の損傷なし。中心から外れないよう慎重に、ドリル刃で穿孔。



台座に頸椎部品を接着、さらに下からワッシャー止め。引っ張り方向の力にも、抜けないように対抗できる。頭部側のブラワッシャーは、少し穴径を広げた。



下側の台座から突き出た、頸椎部品（補強再生）。上から頭側の台座を載せ、軟質ブラワッシャーで固定、実際は、ぬいぐるみを縫合しながらの作業となる。

160708 等身大のアンパンマン、お友達が待ってるヨ!



ぬいぐるみに隠れる前に、再生した頸椎部品のアップ。
中心に金属ピンを通して、補強再生したもの。芯は
抜けないように、3mm径のナットで締付け固定した。



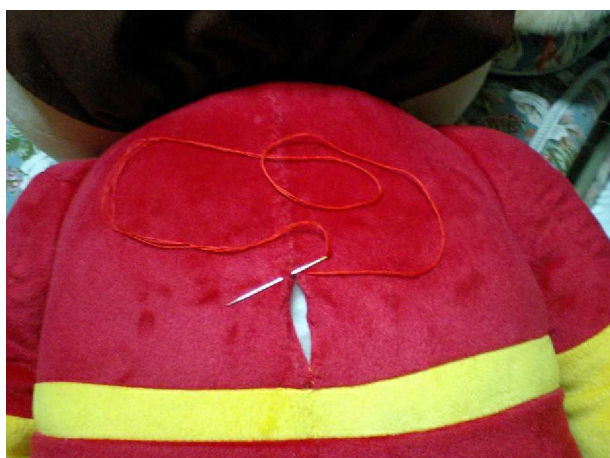
故障原因の修理は完了したが、ここからが、一番大変。
肩から胸の詰め物を、ぬいぐるみから取り出す。
頸椎部品を折らぬよう、下側から台座を取付け。



台座をぬいぐるみに入れ、頸椎部品を首から突き出す。
写真はないが、背骨にはボール紙の円筒が入っていた。
そして、肩や胸板の筋肉代わりに、中綿を詰め込む。



厚地用ぬい針「大きくけ」、おふとんとじ糸、家庭糸。
首回り用糸は6本取り（針穴に3本通す、至難）
背中用は糸を4本取りで、丁寧に縫い合わせる。



背中の隙間から中綿詰め。見た目が貧弱にならぬよう、
胸板を厚く、いかり肩に仕上げ。ギューギュー詰め。
4本取り糸で縫合し完了。何回、指に針を刺したか!



手術終了、愛用ギターと並んで退院祝いの記念撮影。
幼児と同じ目線からは、まるで本当のお友達に見える。
翌朝、元の保育園にお届けして、完治退院となった。